

# 議会だより

# 産山



第15号 令和3年11月発行

- 第12回（9月）定例会議 ..... P2 ~ 5
- 第10・11回臨時会議 ..... P6
- 一般質問 ..... P7 ~ 10
- 編集後記ほか ..... P11~12



撮影は10月下旬山吹の草原で、撮影したものです。

センブリ（千振）

「リンドウ科 センブリ属」

分布：関西以西～九州、朝鮮、中国

花期は8～11月で、分かれた枝先に円錐上の花序を作り、上向きに5弁の白い花を咲かせる。名前の由来は、全草が非常に苦く、植物体を煎じて「千回振出してもまだ苦い」ということから名付けられたとされ、最も苦い生薬(ハーブ)といわれる。

野焼きや草刈をしない放置された草地では、遷移に伴って減少しており、阿蘇くじゅう国立公園では指定植物として、採取は禁止されている。

## 令和3年9月定例会

令和3年第12回定例会が9月6日から10日まで開催され、村からの上程議案22議案、議会からの上程議案1議案の23議案が審議され、全会一致で可決した。

### 令和3年度一般会計補正予算（5号、6号）

**補正予算2,021万円が追加され、総額25億450万円に**

#### ■ 主な歳入

○村税	4, 576万円
○分担金及び負担金	11万円
○使用料及び手数料	153万円
○国庫支出金	△557万円
○県支出金	739万円
○財産収入	641万円
○繰入金	△2, 790万円
○繰越金	4万円
○村債	△750万千円

#### ■ 主な歳出

○総務費	954万円
○民生費	320万円
○衛生費	△766万円
○農林水産業費	△1, 087万円
○商工費	1, 412万円
○土木費	920万円
○諸支出金	274万円

(\*万円以下は、四捨五入)

### 令和3年度各特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業
国民健康保険特別会計（第1号）	△95万円	2億2, 813万円	前年度繰越金の確定や市町村事務処理標準システム導入支援業務の減額に伴うもの
後期高齢者医療特別会計（第1号）	10万円	2, 696万円	前年度繰越金の確定や後期高齢者広域連合納付金の決定に伴うもの
簡易水道事業特別会計（第1号）	81万円	3, 155万円	前年度繰越金の確定や三山台配水池送水ポンプ修繕に伴うもの
診療所特別会計（第1号）	54万円	6, 279万円	前年度繰越金の確定やコロナワクチン接種に伴うもの
介護保険特別会計（第1号）	1, 185万円	2億8, 055万円	前年度繰越金の確定や過年度償還金に伴うもの
風力発電事業特別会計（第1号）	777万円	1, 532万円	前年度繰越の確定に伴うもの

(\*万円以下は、四捨五入)

## 9月定例会（主な議決事項）

### 特定事業者経営安定化支援給付金事業等

**1,000万円**



新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ特定事業者（従業員が20名以上の事業者、やまなみゴルフ倶楽部、株式会社うぶやま）に交付するものです。（全額国補助）

### 経営継承・発展等支援事業

**300万円**



農家の担い手の高齢化に伴い親から子に経営を継承させる取組を支援する事業です。  
(国50%村50%)

### 各公共施設補修工事

**1,100万円**



熊本地震災害により被災した公共施設について補修するものです。写真は、ファームビルッジのベランダの修復を行います。  
(熊本地震復興基金50%村50%)

### 村道維持工事

**720万円**



老朽化等により傷んだ道路の補修工事です。  
写真は、村道片俣・菅生線で劣化したアスファルトを補修します。  
(村100%)

## その他主な議案

### ○報告第4号、第5号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について

**要旨** 株式会社うぶやまの経営状況が報告され、コロナ禍で、大変厳しい状況である。

今後の第3セクターの運営について早急に結論を出すよう議会からの提言をした。

### ○議案第46号 産山村過疎地域持続的発展計画について

**要旨** 国会にて新過疎法が成立し、それまであった計画を新たに作成することが必要となったため、計画の承認がなされた。なお、過疎の認定を村が受ける事により国から有利な事業や起債の借入ができる。

### ○議案第57号 建物売買契約の締結について

**要旨** ヒゴタイハイツ2号棟（単身住宅）をプロポーザル（提案型）で、大和ハウス工業が建築した建物を8,580万円で買取契約を承認した。

### ○発委第2号 コロナ禍による厳しい財政状況に対応し地方税財源の充実を求める意見書について

**要旨** 議会からの発議でコロナ禍における地方税の財源の確保のため、国に意見書を提出するものです。

# 9月定例会質疑応答

補正予算から

「株式会社うぶやま」の経営状況報告から

令和2年度決算認定から

井 芳美 議員

賃貸契約したハーブクッキー工場で排水工事を行っており、届け出はされているのか。また、施設横にプレハブ小屋の設置は可能か。

白石 巖 議員

令和3年度の資金の推移をみると1月で資金ショートするようになつているがその前に何らかの措置をするべきではないか。

白石 巖 議員

企画振興課長  
届出はしており、簡易なため、許可を行つた。

プレハブについては、自費で置くのであれば問題ない。

岩下 徳行 議員

経営継承・発展等支援事業内容について、具体的な説明を求める。

村長

今年度中にそのような事が考えられるため、コロナ対策等の支援を行いたがら進めていきたい。

村長

予算作成時に総務課長、財政、担当課長、担当を含めて行うが、歳入歳出事業項目について、担当課、総務課を含め十分確認がされてなかつた。今後は、数字等の精査をしながらやっていく。

井 芳美 議員

河川監視カメラについて、周りの木が生い茂り映りが悪くなつていなか。

総務課長

今期の梅雨時期にも稼働しているが支障はない状況である。定期的に確認し、障害があれば樹木の剪定を行う。なお、河川カメラについては、村のホームページにて状況が確認できるようになつている。

岩下 徳行 議員

農林水産省の事業で地域の担い手の高齢化が進む中で親から経営を継承し経営を発展させる取り組みを支援する事業である。

また、補助の限度額は、100万円で国と村が半分づつの負担で、対象となる経費は、旅費・研修費・機械装置の購入・設備の処分費・委託費である。

岩下 徳行 議員

役員会でも説明し、現在の状況では存続は、難しい状況を報告した。申し出のあつた企業と協議を進め、お互いの条件を出し合い理解が得られれば進めなければならない。もし、理解が得られないのであれば休業と言つた事も考えていく必要がある。



枝木原公民館前ライブカメラ画像



奥阿蘇の宿やまなみ前ライブカメラ画像

## 令和2年度決算に伴う監査員からの報告

8月19日から9月2までの間、決算監査が行われ、その結果は、以下のとおりです。

令和2年度一般会計歳入歳出決算は、決算書・関係諸帳簿・証拠書類を審査した結果、決算計数は何れも符合している事を確認した。

続いて、審査の内容についてであるが、地方自治体は予算の編成主義に基づき、事務の執行及び財産管理・基金の運用が適切になされているか審査をしたが、事務処理の仕方に一部改善すべき事項があり注意を促した。災害復旧事業の明許繰越の中で、当該年度に一部立て替え施行した事業については、令和2年度に国庫負担金を受け入れているが、この事業部分は、繰越措置も繰越計算書にも明記が無く、いきなり調定をして受け入れている。

補正予算がある場合は専決処分をした上での歳入とすべきで、繰り越した場合も明示しておくべきである。

地方債について、財政健全化審査の中でも審査の基準項目に健全化判断比率について、決算統計に基づいて算出する項目がある。示された「早期健全化基準欄」には、判断をする基準として幅を持たせた基準が示されていなければならないが、審査に付された書類には明記されていないので改善を求める。ただ、コロナ禍の中で臨時に手厚い財源対策が施され、実質公債費比率は年々減少し、昨年度より0.8ポイントも改善されたかのような数値(7.5)となっている。間違いではないが、このような非常時の中でも平年ベースでの公債費比率を常に念頭に置き、財政計画は立てて行くよう心掛けいただきたい。

令和3年9月3日

代表監査委員 吉野 文夫  
議選監査委員 城本 俊成

## 9月定例会上程議案

議案番号	議案名
報告第4号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和2年度決算）について
報告第5号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和3年度第1四半期）について
議案第46号	産山村過疎地域持続的発展計画について
議案第47号	産山村光インターネット使用料及び手数料条例の一部を改正する条例について
議案第48号	産山村ネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
議案第49号	令和3年度産山村一般会計歳入歳出補正予算（第5号）について
議案第50号	令和3年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第51号	令和3年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第52号	令和3年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第53号	令和3年度産山村診療所特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第54号	令和3年度産山村介護保険特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第55号	令和3年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
同意第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について
認定第1号	令和2年度産山村一般会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	令和2年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号	令和2年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	令和2年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第5号	令和2年度産山村診療所特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	令和2年度産山村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第7号	令和2年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第56号	令和3年度産山村一般会計歳入歳出補正予算（第6号）について
議案第57号	建物売買契約の締結について
発委第2号	コロナ禍による厳しい財政状況に対応し地方税財源の充実を求める意見書について

## 令和3年10回臨時会

令和3年第10回臨時会が7月30日開催され、条例議案1議案を審議し、全会一致で可決した。

### 議案第43号 産山村畜産環境保全に関する条例の制定について

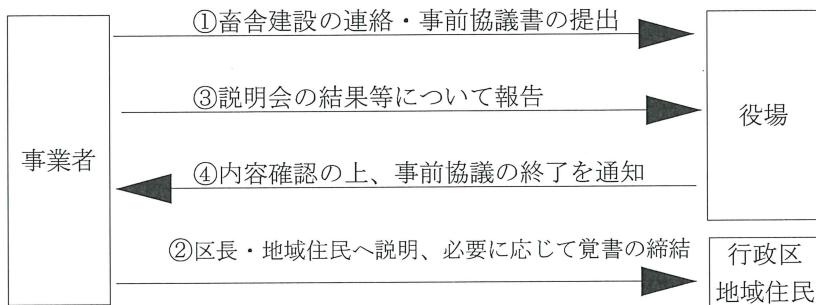
**要旨** 畜産環境について、村の基本的な考え方を定め、事業者の責務等を明らかにし、地域と畜産業の共存及び地域に根差した畜産業の振興を図るために制定するものです。



#### 〈条件のポイント〉

- ・周囲の環境に配慮した畜産経営に関する事業者の責務の明確化
- ・畜舎建設（増設も含む）に際して、事業者と村（地域含む）で事前協議を実施（環境への影響・対応策等に関して）

#### 〈手続きの流れ〉



#### 〈対象と基準飼養頭数〉

対象	基準飼養頭数
酪農牛	50頭以上
肉用牛・馬	100頭以上
豚	500頭以上
鶏（採卵鶏・ プロイラー	20,000羽以上



## 令和3年11回臨時会

令和3年第11回臨時会が8月30日開催され、予算議案1件、条例改正議案1議案の2議案が審議され、全会一致で可決した。

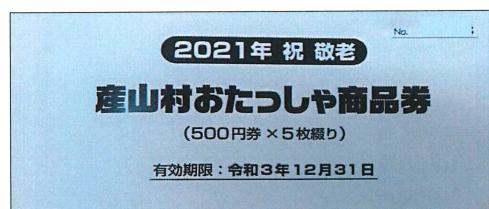
### 令和3年度一般会計補正予算（第4号）

63万円を追加し、総額24億8,423万円に

#### 主な補正予算

○敬老会お達者券の配布 63万円

**要旨** コロナ禍により、毎年行われている敬老会が開催できないため、昨年と同じように1人に2,500円のお達者商品券を配布するものです。



### 議案第44号 産山村手数料条例の一部を改正する条例について

**要旨** 現在、国が発行している個人番号カードについて、従前は、村において再発行等の手続きを行っていたが、国の法改正により手続きは、国で行うため、それに伴い条例を改正するものです。

# 村政を聞く!

## 一般質問



### ■ 農産物の販売先について



城本俊成  
議員

で現在、産山村の产品  
を販売する場所がない。他の  
販売店やネットや市場等個人  
で出している。販売先を失つ  
たままで良いか。場所の確保  
が必要と思うが。

Q 農産物の販売所は設置できないか

A 販売所を検討する

【村長】アンテナショップを閉  
店し、販売設置場所も決まら  
ず現在に至る。冬場は別とし  
て夏場だけでもその施設は検  
討する必要がある。

【議員】今現在、産山村の产品  
を販売する場所がない。他の  
販売店やネットや市場等個人  
で出している。販売先を失つ  
たままで良いか。場所の確保  
が必要と思うが。

【村長】規模にかかわらず、生産  
物・農産物を販売できる形がで  
きるように取り組みたいと現時  
点では思っている。

【議員】右肩下がりの手数料、診  
療報酬と右肩上がりの負担金。  
サービスを重要視すれば、そ  
の分だけ負担金が上がってくる。  
現体制で満足しているのか。

### ■ 診療所について

【村長】5日連続というのはなか  
なか難しいと考えるが、今後は  
そういう形も含めて対応したい。



井 春夫  
議員

めでたいきたい。  
え方で今後進

【議員】現体制が悪いとは言わな  
いが、所長として、村の主治医  
として、2日から3日、4日と  
来てもらえるよう条件等含めて  
話はできない。

【村長】約10年間、村に在住した  
林田先生から阿部先生へと変わ  
り、県内の医療機関にお願いし  
てこの度、井先生を所長として  
迎え、2日間勤務と輪番制で行  
っている。村に在住して、村民  
が安心して暮らせる状態を維持  
していくしかなければならないとい  
う現状の中では、現在の医療体  
制で満足しているわけではない。  
組む必要があり、保全す  
べき河川では、一定期間  
の水生生物の禁漁区間の  
設定、自然環境に配慮し  
た河川整備による水生生  
物等の保全を行う必要が  
あると思うが、どのように  
取り組んでいくのか。

【議員】これまで実施した  
経緯はない。

【議員】調査を実施してほ  
しい。

【村長】これまで実施した  
経緯はない。

【議員】環境保全活動に積  
極的に取り組むべきであ  
り、産山の価値ある自然  
環境と自然景観を守り、  
受け継いでいくために、  
貴重な水生生物等の保全  
・保護を治水上の安全性  
を確保した上でしっかりと  
取り組んでいくよう提  
言する。



災害復旧工事により河川護岸の復旧が行われ  
ている山鹿川（田尻地区）

Q 花の温泉館が土砂置き場に!! これでいいのか

A 土砂置き場については、別の場所に設置



井 芳美  
議員

### ■花の温泉館について

【議員】花の温泉館が河川改修のため土砂置き場になっていた。

【議員】花の温泉館は河川改修のため土砂置き場になっていた。近隣の空き地を探さず、土砂を置いたと思うが公共的な場であり景観上好ましくない。

そのため、周辺の置き場を

探すべきであつたと思うが、どうか。

【村長】土砂置き場については別の場所を確保することができました。

【経済建設課長】各地区の除草作業については、ボランティア活動ということでこれまで進めてきた。その中で燃料代等の金銭的な負担の軽減を目的として、補助を行っている。補助の単価は、難易度に応じて設定し3つに分けて1m当たり、Aランク10円、Bランク9円、Cランク8円となつてている。

### ■村道の草刈り補助について

【議員】村道の草刈り補助については、業者と村民の道切りの単価が違う。

村民はボランティアだから、安くいいという問題ではなく村民に対してもう少し金額の増額があつていいのではと思うが。

【村長】以前は、ボランティアで地域ごとにやつていただいた経緯の中で、時代が変わり幹線道路を除いて、現在まで慣例でお願いしている。確かに高齢化が進みどうしても地域で、できない箇所については村が追加予算を組んで業者に委託してやつてている。村民の方には若干の助成をして維持管理に努めもらつてある。

【議員】現在、一人暮らしの方の人数は何名か尋ねる。また、独り暮らしの人で不安な方は結構いると思うので、ドアホーンがあればと思うがどうか。

### ■ドアホーンについて

【村長】これは安否確認以外の問題で、防犯という立場から必要だろうと思う。高齢の方は、取り付けてない方のほうが多いと思う。ドアホーンがあれば、防犯的な立場からは、少し安心するのかなと思う。



家庭用ドアホーン

【議員】地域によって草を切る方の人数も減つてている。建設業の方も、道切り延長が増えていくと結構大変だと思う。

少しの改善というのは、人間にとつて不思議なもので、「今までどおり、あなたたちはこれまでしなさい」という言い方と、「あと1円どうかしましようかね」という、その気持ちは、すごく大事と思う。

道切り補助の増額を考えていただきたい。

【健康福祉課長】8月末現在、76世帯の方が独居である。なお、村において見守りセンサーを設置されている方は38世帯の方に付けている。ドアホーンについての意向というものはこちらも把握していないので、今後、見守りセンサー機器の置き換えをする段階で意向調査等も考え、そこで把握をさせていただく。

【議員】設置された自宅で、確認したが、やはりあるとすごく安心して、夜もゆつくり眠れるような気がするため、検討をお願いする。



渡辺裕文  
議員

村でもできる  
事があれば応  
援したい。

**【村長】**過去に井姓について調査された経緯がある。井さんが産山村に多いと感じていたが、それを村の活性化にという発想は産山村を全国に知らせるということにつながり非常にいいことだと思う。



実行委員会では、いーさん祭りを池山水源で11月3日行ないます。

**【議員】**森林資源は建築材だけなくバイオマスもあり、薪炭等の需用も開拓できる。自分でやれば地元で循環できる。日本政府は2030年までに2013年度比で46%炭素削減、2050年には実質ゼロ、カーボンニュートラルを目指している。



## Q 井さんのむらとして村おこしをしては

## A 村もできることがあれば、応援したい

### ■「日本一の井さんの村、産山」を活用した村おこしについて

【議員】

「日本一の井さんの村、産山」を活用した村おこしの広報のチラシによると産山村の人口の20%以上が井さんという同一姓である。「井」という字は水に関係あると文献にも記されている。本村には池山・山吹の有名な水源があり、その関連で井姓が多いのではないか。諸説あると思うが「井」という珍しい一文字姓が一つの村に2割以上あるといふのは間違いない日本一であり、産山村を井さんのふるさととして村おこしに活用したらどうか。

【議員】全国にアピールすると、いろんな反応があると思うが、企画振興課では今後どう考えているか。

【議員】村の人工林は約2000ha放置された山林も多い。

豪雨時の災害の危険性もある。

産山村過疎地域持続的発展計画によると、森林資源有効活用のため植栽、下刈り、間伐等の森林施業の支援、森林環境の維持保全及び機能の向上を図るとあるが、そのためには林業従事者が必要であると思うが林業を主体としている事業者はいるか。

### ■林業について

【企画振興課長】イベントをするに当たり経費もかかると思う。村づくり支援交付金の活用も考えられるし、企画振興課の職員で事務局の手伝いをし、イベントを通じ交流人口増加等を目標にし支援を行っていきたい。

【議員】新型コロナ感染症の影響等も危惧されるが、村おこしにつながるのであれば我々議員も積極的に関わって応援していくなければならないと思っている。

【経済建設課長】正確には把握していないが数名が従事しており団体もある。

## Q 任期満了に伴う村長選挙について出馬するのか

### A 3期目の村長選に出馬する



白石 巖  
議員

#### ■村長選挙について

【議員】 村長選挙について2期目の任期満了が近づいてきている。3期目の出馬の意思を問う。

【村長】 2期8年の中では残された大きな事業が2、3ある。特にコロナ対策について一生懸命取り組んできたところで今後も対応が予想される。

次に第三セクターの経営不振の問題をどう解決していくか大きな課題がある。これについては、村だけの力では難しいため、民間の力を借り協力し合って、経営を続けていくことを目標に今取り組んでいるところである。

また、小さな拠点の問題もあり、これから課題もたくさん抱えている。それをここで終わりにするのではなくて、3期目の集大成として挑戦したい。

#### ■これまでの村政について

【議員】 これまでの村政運営8年間を振り返り、結果としてどのように感じているのか尋ねる。

【村長】 私が8年前に就任し、第1期目に平成26、27年にかけて給食センターの建設を行った。8年間の中にはインフラ整備、学校の大規模改修、高齢者への支援事業等を行い補助事業を活用しながらやつて村の負担が増えたものもあると思うが最低限度の事業をやってきた。

【議員】 実績の中で、農業振興補助事業の件について、何年か前に補助を受け、今年その事業施設を解体し、他市へ移動した事案がある。

この方が村長の近親者ということで、3月定例会時に私と經濟建設常任委員長が質問したがこの事案は補助事業要綱に反しているのではないかと聞いた。

村長自身ではなく、經濟建設課長から法的に問題はないということであった。その答弁のみで、今まで至つて止まっている。

また、4月の例監査でも指摘事項として明記されている。村長は、農業振興補助事業を推奨しているが、法的な問題はないからというだけで解決済みと考えているのか道義的な責任はないのか、その点を尋ねる。

【村長】 この件については、家族の中で、若者夫婦がやるということで決断してやつたことではあるが、補助事業を推進する立場でそういう事態になつたことについては、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいである。

そのことについては、やはり道義的なものも含めてあると思うがただ、現在、そのことを含めて、息子夫婦にはちゃんと説明をしている。

息子夫婦がしっかりとそれを受け止めて決断すべきと思つており、その行為に対しても私自身道義的な責任を感じているが最終的に家族でしつかり話して、どういった結論になるか話した後でないと分からぬというのが現実である。

【議員】 今の話を聞くと道義的な責任を感じているとの事ではあるが感じているだけで果たして済まるのか疑問に思う。

やはりきちんと説明責任を果たしていただきたい。



うぶやま天文台



給食センター



御湯船温泉館

## 人権擁護委員候補者の推薦について

令和3年3月31日の任期満了伴い1名不在となっていた人権擁護委員について、村から推薦された田尻在住の中村祐介氏（61歳）を人権擁護委員候補者として承認し、今後、法務大臣から委嘱されるものです。

中村祐介氏におかれましては、今後より一層のご活躍祈念申し上げます。

## 熊本県町村議会議員研修会について

令和3年10月6日本村議員控室において、熊本県町村議会議員研修会が開催されました。

本来であれば、熊本県の町村議員が一堂に会し、毎年大ホールにて開催されてますがコロナ禍により全体で開催することが困難なため、本年度は、インターネットを使ってオンライン形式の研修会となりました。

研修会の講師として、流通経済大学教授・ジャーナリストであられる龍崎孝氏が演題として、「日本の政治経済の展望」と題して講演がありました。

講演の内容については、岸田新総裁誕生による今後の国の展望について講演されました。

今回、初めてのオンライン会議ということで、テレビ放送を見ているような感覚で時間の経過が早く感じられ会場で視聴するより聞きやすい印象でした。

なお、本村からは、4名の議員が参加され、今後は、こういったオンライン会議が多く開催されるものと思われます。



インターネットによるオンライン形式の研修会風景

## 阿蘇広域行政事務組合 令和3年第3回議会定例会報告について

令和3年10月21日に大阿蘇環境センター未来館において、阿蘇広域行政事務組合の定例会が開催され、議会選出議員2名が出席しました。

なお、令和2年度阿蘇広域事務組合の決算が承認され、本村の負担額については、下記のとおりです。

（万円以下は、四捨五入）

項目	一般管理	介護保険対策	障害支援対策	火葬事務	中部火葬施設	環境総務
産山村	264万円	88万円	23万円	21万円	153万円	37万円
阿蘇広域全体	1億1,365万円	3,462万円	980万円	802万円	1,564万円	1,429万円

項目	清掃施設	最終処分場	中部清掃	し尿処理施設	消防	合計
産山村	2,372万円	142万円	12万円	949万円	3,665万円	7,726万円
阿蘇広域全体	6億8,649万円	3,955万円	374万円	4億1,562万円	11億435万円	24億4,577万円

\*産山村の負担額は、7,727万円で、村民1人あたり、約5万4千円の負担となります。

主な議会活動			
月日	内容	場所	参加者
7月30日	第9回全員協議会 第10回臨時会	産山村	議員全員
8月2日	阿蘇郡町村議長会臨時総会	阿蘇市	議長
8月6日	阿蘇郡監査委員協議会総会	高森町	監査委員
8月12日	第10回全員協議会	産山村	議員全員
8月19日～9月2日	決算監査	産山村	監査委員
8月25日	熊本県町村正副議長研修会	産山村	正副議長
8月30日	第11回全員協議会 第11回臨時会 議会運営委員会	産山村	議員全員 議員全員 正副議長各常任委員長
9月6日～10日	第12回9月定例会 第12回全員協議会	産山村	議員全員
9月7日	第63回金婚夫婦表彰	産山村	正副議長各常任委員長
9月24日	例月監査	産山村	監査委員
10月6日	熊本県町村議長会議員研修会	産山村	議員
10月19日	第13回全員協議会	産山村	議員全員
10月21日	阿蘇広域行政事務組合定例会	阿蘇市	広域議員
10月22日	例月監査	産山村	監査委員
10月27日	第14回全員協議会	産山村	議員全員

## 編集後記

村民の皆さんお元気でしょうか。

新型コロナウイルス感染症もようやく終息しつつありますが、まだまだ、気を緩めることが出来ません。

秋晴れの空にコスモスが映え、キンモクセイが香っています。

村民の皆さんどうかお身体を大切に健康で笑顔でお過ごし下さい。



### 広報特別委員会

委員長 岩下 徳行  
委員 井 芳美

副委員長 井 春夫  
委員 城本 俊成

発行責任者 議長 西澤 正  
編集 広報特別委員会  
発行 産山村議会  
熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3  
☎ 0967-25-2635